

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

'06ネオレストD1・D2(CES9563J・9573J)/
'07ネオレストD1・D2(CES9563RJ・9573RJ)スティックリモコン用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、**特殊コードラベル一覧***をご確認ください。

*補修部品の供給が終了したため、ラベルの発注はできません。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タイ プ 1) 1	(タイ プ 2) 2	正 規 品	(タイ プ 1) 1	(タイ プ 2) 2
(タイ プ 3) 3	(タイ プ 4) 4	(タイ プ 5) 5	(タイ プ 3) 3	(タイ プ 4) 4	(タイ プ 5) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

<<本体側の設定方法>>

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

手順

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

本体操作部の を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**2秒間**点灯します。

本体操作部 ※図はD2タイプ

	緑色全点灯
↓	
	節電→橙色点灯 その他→緑点灯
↓	
	ランプが点滅したらやり直してください。

この間
2秒

本体操作部

2

運転 を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、
すぐに を5秒以上押す。

↓

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

本体操作部

3

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 を押したまま、 を押す。

↓

を押す度に標準→特1→特2…特9→標準

と設定が切り替わります。

本体表示部 ※表示はD2タイプ (センサーランプはD1タイプにはありません) ◎…点灯 ×…消灯

LED種別	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
センサー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎
脱臭	◎	◎	×	×	◎	◎	×	◎	◎	×
便座	◎	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎	◎
運 転	◎	×	◎	×	◎	×	◎	◎	×	◎

本体表示部

4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 から手を離れた時点で設定したコードになる。

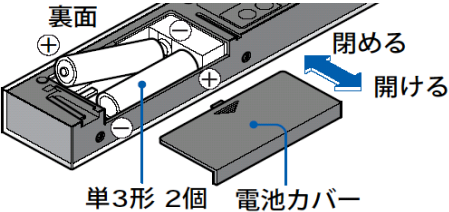
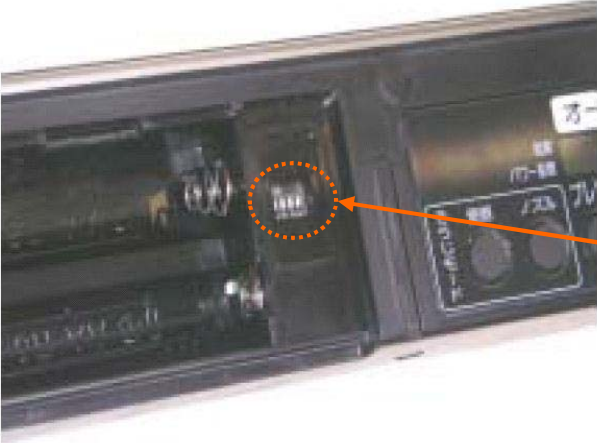
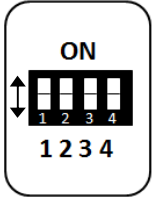
5

ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

コードラベル

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

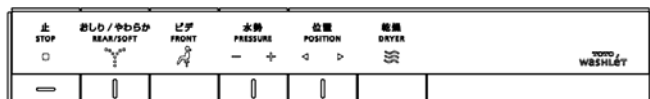
<<リモコン側の設定方法①>> 製品同梱リモコンの場合


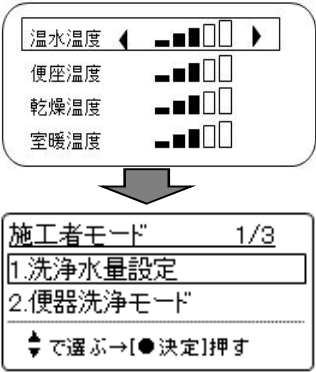
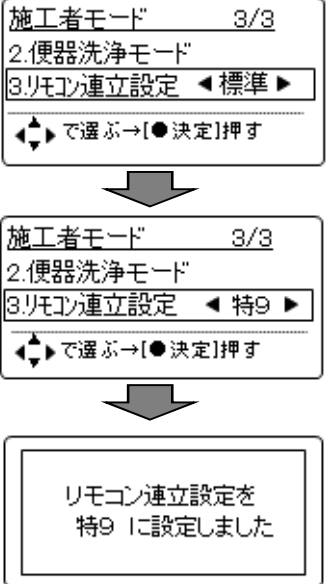
手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																											
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p>																																																											
2	<p>下表を参考に、4つのDIPスイッチの切り替えを行う。</p> <p>※DIPスイッチ部に黒色のシールが貼り付けられているリモコンがあります。その場合は、シールを剥がして設定変更を行ってください。 設定完了後、もう一度シールを貼ってください。</p>  <div data-bbox="906 719 1321 936" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>DIPスイッチ</p> <p>スイッチが上下に動きます (初期状態は全てONです)</p>  </div> <table border="1" data-bbox="367 965 1513 1238"> <caption>DIPスイッチ カスタムコード一覧</caption> <thead> <tr> <th>特コード カスタムコード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	特コード カスタムコード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	1	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	2	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	3	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	4	ON	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF
特コード カスタムコード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																		
1	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF																																																	
2	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON																																																	
3	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON																																																	
4	ON	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF																																																	
3	<p>電池を取り付けて、電池カバーを取り付ける。 ◎取り付けかたは、手順1を参照してください。</p>																																																											

※ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

＜＜リモコン側の設定方法②＞＞

補修品でリモコンを変更した際、下記タイプを設置している場合



手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)	
1	<p>＜＜リモコン表側＞＞</p>  <p>＜＜リモコン裏側:液晶部＞＞</p> 	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②リモコン表側の＜＜止＞＞スイッチを約10秒押しと、裏側の液晶画面が【施工者モード】に切替わります。</p>
2	<p>＜＜リモコン裏側:液晶部＞＞</p> 	<p>①【施工者モード】の【3.リモコン連立設定】へ液晶画面横の▼ボタンでカーソルを合わせる。</p> <p>②【3.リモコン連立設定】の横に 標準 から画面横の▶ボタンで<特1・特2…特14>と表示が切替わるので設定したい状態の所に合わせる。(例:特9)</p> <p>③液晶画面横の●ボタンを押すと【リモコン連立設定を特9に設定しました】と表示されると設定完了。</p> <p>④液晶画面横の■メニュー/戻るボタンを押して最初の画面に戻る。</p> <p>＜＜ご注意＞＞ 特殊設定は標準～特9まで設定を行ってください。 リモコン側は標準～特14までの設定が可能です、 本体側は特9までしか受け付けません。</p>

※ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。